

学校法人天理よろづ相談所学園

2021（令和3）年度 事業報告書



# 目 次

1. 法人の概要		
(1) 建学の精神	・・・	1
(2) 学校法人の沿革	・・・	1
(3) 設置する学校・学部・学科等	・・・	1
(4) 学校・学部・学科等の学生数の状況	・・・	1
(5) 収容定員充足率	・・・	2
(6) 役員の概要	・・・	2
(7) 評議員の概要	・・・	3
(8) 教職員の概要	・・・	3
2. 事業の概要		
(1) 事業の概要	・・・	4
(2) 入学者選抜の実施状況	・・・	7
(3) 施設等の状況		
① 現有施設設備の所在地等の説明	・・・	8
② 主な施設設備の取得又は処分計画及びその進捗状況	・・・	8
(4) その他	・・・	8
3. 財務の概要		
(1) 決算の概要	・・・	9
(2) 主な財務比率比較	・・・	14
(3) その他		
① 有価証券の状況	・・・	15
② 借入金の状況	・・・	15
③ 学校債の状況	・・・	15
④ 寄付金の状況	・・・	15
⑤ 補助金の状況	・・・	16
⑥ 収益事業の状況	・・・	16
⑦ 関連当事者との取引状況	・・・	16
4. 参考資料【文部科学省科学研究費の獲得状況】	・・・	17

## 1. 法人の概要

### (1) 建学の精神

学校法人天理よろづ相談所学園は、教育基本法及び学校教育法に従い、人に尽くすことを自らのよろこびとする天理教の信条教育を基調として、医療に従事する献身的な人材を育成することを目的とする。当法人は、この目的を達成するため、天理医療大学を設置する。

### (2) 学校法人の沿革

平成 23 年 10 月 学校法人天理よろづ相談所学園設立認可

天理医療大学設置認可

医療学部看護学科 定員 70 名

医療学部臨床検査学科 定員 30 名

平成 24 年 4 月 天理医療大学開学

平成 28 年 3 月 第 1 回卒業式 挙行

平成 29 年 3 月 第 2 回卒業式 挙行

平成 30 年 3 月 第 3 回卒業式 挙行

平成 31 年 3 月 第 4 回卒業式 挙行

令和 2 年 3 月 第 5 回卒業式 挙行

令和 3 年 3 月 第 6 回卒業式 挙行

令和 4 年 3 月 第 7 回卒業式 挙行

現在に至る

### (3) 設置する学校・学部・学科等

設置する学校	開校年月	学部・学科等	摘要
天理医療大学	平成 24 年 4 月	医療学部・看護学科 医療学部・臨床検査学科	

### (4) 学校・学部・学科等の学生数の状況

【天理医療大学】

令和 3 年 5 月 1 日現在

(単位：人)

学部名	学科名	入学定員数	収容定員数	現員数	摘要
医療学部	看護学科	70	280	314	
	臨床検査学科	30	120	108	
合計		100	400	422	

(5) 収容定員充足率

【天理医療大学】

(単位：人)

学部名	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度	2020(R2)年度	2021(R3)年度
医療学部	103.3%	103.8%	106.3%	105.5%	105.5%

(6) 役員の概要

定員数 理事 6～8名、監事 2～3名

令和4年3月2日現在

区分	氏名	常勤・非常勤の別	摘要
理事(理事長)	奥村 秀弘	常勤	平成29年10月理事就任 平成29年10月理事長就任 令和2年10月重任
理事	永尾 教昭	非常勤	令和2年10月理事重任
理事	松田 洋和	非常勤	令和2年10月理事重任
理事	阪井 眞利子	非常勤	令和2年10月理事重任
理事	高橋 道一	非常勤	令和3年4月理事重任
理事	松山 仁志	常勤	令和2年4月理事就任
監事	山口 昌之	非常勤	令和2年10月監事重任
監事	大川 雅司	非常勤	令和2年6月監事就任

## (7) 評議員の概要

定員数 13～17名

令和4年3月2日現在

氏名	就任年月	主な現職等
奥村 秀弘	令和2年10月	(学) 天理よろづ相談所学園 理事長
山中 忠太郎	平成29年4月	(公財) 天理よろづ相談所病院 院長
金子 嘉志	令和2年4月	(公財) 天理よろづ相談所病院 副院長
森岡 正彦	令和3年3月	(公財) 天理よろづ相談所病院 事務長
今村 陽治	令和3年3月	(公財) 天理よろづ相談所 事務局次長
吉田 宏二郎	令和3年3月	元大和高田市立病院 副院長
近藤 博和	令和2年9月	(公財) 天理よろづ相談所病院 心不全センター長
青山 弘子	令和3年3月	(公財) 天理よろづ相談所病院 看護部部長
嶋田 昌司	令和3年3月	(公財) 天理よろづ相談所病院 臨床検査部技師長
曾山 奉教	令和3年3月	天理医療大学 臨床検査学科准教授
市村 輝義	令和3年3月	元関西医療大学 教授
平 葉子	令和2年9月	奈良市立看護専門学校校長
小松 方	令和3年3月	天理医療大学 医療学部臨床検査学科 学科長
江南 宣子	令和2年9月	天理医療大学 医療学部看護学科 学科長
畑中 徳子	令和3年3月	天理医療大学 医療学部臨床検査学科 専任教授
萱原 史朗	令和2年4月	天理医療大学 事務局次長
松本 洋司	令和2年9月	天理医療大学 事務局 学生支援課長

## (8) 教職員の概要

令和3年5月1日現在 (単位：人)

区分		本部	天理医療大学	計	摘要
教員	本務	—	48	46	
	兼務	—	108	108	
職員	本務	2	13 (*)	15	(*) 派遣職員3名を含む
	兼務	0	2	2	

## 2. 事業の概要

### (1) 事業の概要

平成24年4月の大学開設から丸10年が経過し、令和4年3月には第7期卒業生105名（看護学科80名、臨床検査学科25名）を卒業させることができた。

「人に尽くすことを自らの喜びとする」という天理教の信条教育を基調とする教育・研究上の理念を柱に、将来、自律と協働する力の備わった有為な医療のプロフェッショナルとしての看護師・臨床検査技師の育成を目指し、医療人としての基礎をつくる「総合基礎科目（人間と社会・協同的医療実践の基礎）」また専門分野の理解に向けて「共通専門基礎科目（体のしくみと医療・協働的医療実践の展開）」に本学の独自性のある教育を実践してきた。

大学運営において理事会機能の充実を図り、また理事会と事務職員との情報共有体制の確立のための事務局幹部会の開催を継続してきた。

大学基準協会による大学認証評価（平成30年度）による「判定保留」の結果を受けたが、指摘事項の改善に取り組み、令和3年度に再評価を受け、認証を得た。

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症のため Zoom を利用した遠隔授業中心から通常の対面授業を増やしていたが、新たな感染の拡大を受けて遠隔授業を再度拡大せざるを得ない状況もあった。感染状況を見ながら一部の科目について対面の講義や実習を実施した。

#### 【教育推進委員会】

##### 1) 新任・若手教員 FD 研修（外部派遣）の実施

新任教員教育研修補助細則の内容を見直し、「新任教員教育研究費」の規定を作成した。

その規定に従って、6名の看護学科助手、助教の教員の教育に関連する研修、学会の参加費に対し研究費を交付した。

##### 2) 教員 FD 外部研修派遣の実施

- ・看護学科で今年度取り入れているシミュレーションに関する研修に1名派遣し、伝達講習を実施する（3月の研修のため、次年度4月に行う）
- ・検査学科は臨床検査技師タスクシフト・シェア厚生労働省指定講習会に4名の応募があった。学科内で伝達し、次年度からの教育に活かす。
- ・「オンデマンド講義：看護形態機能学の理解と活用」を申し込み、学内に活用を促した。

##### 3) 看護学科 FD 研修会の実施

2021年8月25日に甲南女子大学：松岡千代先生による「臨地実習において教育上の調整が必要な学生への対応」をテーマとした研修会を Zoom で行い、32名の教員が参加した。

2022年3月11日に埼玉県立大学：飯岡由紀子先生、甲南女子大学：松岡千代先生による「教育上の調整が必要な学生の支援を考えよう」をテーマとした研修会を Zoom で行い、21名の教員が参加した。

##### 4) 臨床検査学科 FD 研修会の実施

2022年3月11日の2021年度第2回天理医療大学リトリートにおいて臨床検査学科 FD 研修会を開催した。

講師は藤田医科大学の今村誠司先生をお招きし、「臨地実習前 OSCE について」をテーマにご講演いただき、講演後に本学臨床検査学科教員とディスカッションした。

##### 5) 授業参観（オープンクラス）の実施

教育力の向上という目的を共有し、前期は委員会委員間での相互の授業参観に取り組んだ。

2021年度（6月～7月）の公開授業科目・コマ数は（19科目・50コマ）あり、参観授業科目は（3科目・4コマ）であった。

2021年度（11月～12月）の公開授業科目・コマ数は（15科目・41コマ）あり、参観授業科目は（4科目・8コマ）であった。委員以外の公開授業数は（2科目・2コマ）委員以外の参加者は2名であった。

#### 【学生支援委員会】

##### 1) 学生の健康管理について

①起床時・就寝前の検温：周知は本学ガイドラインに従って対応した。特に演習・実験等来学して行う授業に関して、有症者は事前に保健室への連絡を行い、発熱外来への受診を促した。有症者の状況は保健室から教職員にメール配信し、コロナPCRの実施の有無と結果について情報共有した。臨地実習を実施する場合は、全学生を対象として唾液を用いたPCR検査を事前に実施する対応を行った。

②検診・検査予定：予定通り全学生の検診が完了した。

③学生相談室担当者（外部相談員）の利用状況（2月末時点）は以下となった。

・開室回数 37回、原則として学休期間および祝日を除く、毎週火曜日に学生相談室を開室した（尚、今年度は学休期間において要望があった際には、開室した）。

・相談者数 10人 相談件数 30件（※そのうち15件はZOOM対応）

##### 2) チューター制度の運営について

①5月31日および3月15日の2回 Zoomを用いたチューター会議を行った。両学科チューターと科目責任者の連携を強化し学生への教育支援を行った。

②「天理医療大学学生支援マニュアル」（改訂版）に基づき対応を行った。

③「天理医療大学学生支援マニュアル」（改訂版）を4月23日から運用開始した。3月15日のチューター会議にて点検を行った。

##### 3) 学生生活全般の支援について

①10月29日（金）16：20～17：20 学生と教職員との意見交換会を開催した。コロナ感染予防のためZoom対応とした。出された要望について回答し意見交換を行った。参加者数は教員26名、事務局4名、学生9名、合計39人であった。学生の出席は各学科各学年のクラス長としたが、Zoom対応のため全学生および全教職員は本会議を傍聴可とした。学生からの意見・要望は15件あり、随時関連部署から回答を行った。議事録を作成し、後日学生に配信を行った。

②7月9日（金）14：40～15：40に交通安全講習会を開催した。

講師：天理警察交通課長 笹田厚司 警部、受講対象者：両学科1～2回生

講義方法：Zoomライブ（配信会場大教室A）とし、全教職員は傍聴可とした。

参加者：学生191名（参加率：1回生92.5%、2回生87.6%）、教員6名

合計197名

##### 4) 学生自治会・学生団体活動について

①前年度より新型コロナウイルス蔓延防止により天医祭をはじめとする学生主体行事はすべて中止となり、今年度も同様の対応となった。自治会役員の交替も学生支援委員会担当委員が専任となり改選のサポートを行った。5月に役員改選を実施した。また改選時期を早期に行うため年末改選に規則変更し次年度役員の改選を促した。3月現在、自治会長および副会長のみ改選の手続きがなされているが、他の役員の改選は行われていない。

②既存のサークルは「ボランティアサークル」1件である。学生のサークル活動も新型コロナウイルスの影響で活動停止状態であった。「バスケットボールサークル」および「ダンスサークル」の設立依頼が出され、前者は保留、後者は設立が承認された。

##### 5) 学生のキャリア支援について

①ホームカミングデーは新型コロナウイルス感染症感染予防のため、前撮り動画を

Youtube を用いたオンデマンド配信に変更した。天理よろづ相談所学園同窓会とも連携を図った。

日程：10月11日（月）～11月11日（木） オンデマンド配信

配信対象：本学学生、教職員および本学同窓生

配信内容：共通コンテンツ（開会宣言、吉田学長、天理よろづ相談所学園同窓会長および副会長の挨拶）、

学科別コンテンツ（看護学科）：学科長挨拶、卒業生5名の口演、（臨床検査学科）卒業生5名および本学教員OB 1名の口演。

Youtube 再生回数：共通コンテンツ 227 回、看護学科：223 回、臨床検査学科：184 回  
配信終了後 Google form を利用したアンケートを実施、32 件回収（教職員 6、卒業生 6、天理看護学院卒 6、天理医学技術学校卒 8）

②企業など病院などの就職説明会を臨床検査学科 3 回生を中心に開催。検査学科 1-2 回生および看護学科は任意参加とした。

1 回目：9 月 10 日（金）9：00-12：10 内容：マイナビより就職活動総論の講義（Web）、企業 5 社からの会社説明を受ける。

2 回目：2 月 8～9 日 内容：就職ハンドブック説明、大学院などの進学について、奈良県内の 7 病院および三重県松阪市の臨床検査センターの検査技師から施設の概要の説明を受ける。

#### 【広報・社会連携委員会】

1) オープンキャンパスについて

①オープンキャンパスを計画通り開催した

新型コロナウイルス感染症流行の為、参加上限人数を 100 名程度とし、すべての回を来校型と動画配信型として事前申し込み制で開催した。内容は学部、学科紹介、学科別体験実習、入試・奨学金説明、令和 5 年度からの天理大学への学部譲渡についてである。

参加者数は以下の通りである。

5/30（日） 看護学科：47 名 臨床検査学科 21 名 計 68 名

6/26（土） 看護学科：31 名 臨床検査学科 17 名 計 48 名

7/31（土） 看護学科：72 名 臨床検査学科 37 名 計 109 名

8/22（土） 看護学科：74 名 臨床検査学科 29 名 計 103 名

総計 看護学科：224 名（前年度より-41） 臨床検査学科 104 名（前年度より+46）

②高校訪問を実施する。

1) 高校会場型ガイダンスに出向した。参加した高校：天理高校（6/30、両学科）、登美ヶ丘高校（7/16、看護学科）、奈良北高校（7/20、両学科）、桜井高校（7/12、両学科）、育英西高校（9/11、検査学科）、五条高校（9/29、検査学科）

2) 事務局を中心に奈良県内および奈良近郊の高校に直接訪問を行った。全 26 校。

3) 臨床検査学科学生募集を強化する目的で臨床検査学科教員を中心に高校訪問を行った。全 13 校。

2) 広報誌の発行とホームページの適切な運用について

①「青垣」は 8 月 2 日に印刷会社より本学に納品がなされ、各所へ配信した。

配信先は以下の通りである。

在校生保護者 422 名

取材協力者（卒業生） 9 名

大学案内資料請求者（2021 年 3 月～2022 年 5 月） 約 1,000 名

2021 年度オープンキャンパス参加者 約 200 名

奈良県高校・近畿圏高校 約 500 校

計 2,131 件

- ②SNS を利用した情報公開は前年度から開始した。今年度は教員紹介、授業紹介、学内・周辺施設の紹介の年間計画をし、毎月記事を掲載した。掲載記事総数 74 件（前年度 60 件）、Instagram フォロワー数 245 人、フォロワー数 51 人。一つの記事に対するインサイト数は 450 程度となっている。
- ③10 月 29 日にホームページ更新作業を各担当部署により依頼を行い、修正を実施した。修正内容：各学科の紹介（2012 年カリキュラムを 2018 年カリキュラムに変更）、教員ページの更新、自己点検評価報告書の最新版の掲載
- 3) 高大連携を通して高等学校の教育を支援する活動について  
臨床検査学科は出前型ミニオープンキャンパス案内用パンフレットを作成し、高校訪問と同時に配布を行った。  
高校授業の一環としての申し込みで、本学への来訪型の個別オープンキャンパスを実施した。来訪した高校：県立高田高校（10/12、生徒 41 名、教員 3 名）、奈良育英高校（11/4、天理大学にて模擬授業後、本学でオープンキャンパス、模擬授業参加生徒 30 名、本学オープンキャンパス参加生徒 16 名および教員 1 名）
- 4) 国・地方公共団体や企業等、外部団体との連携について  
第 2 回まちの保健室を 10 月 16 日（土）10：00～14：45 に計画通りに天理駅北団体待合所で開催した。参加者数 167 名（大人 104、子供 63、86 組）、スタッフ 116 名（看護学科 4 回生 80 名、教職員 32 名、奈良県看護協会 4 名）内容：学生企画 16 ブース、委員会企画 3 ブース、奈良県看護協会企画 2 ブース。アンケート 57 件回収（回収率 66%）

## (2) 入学者選抜の実施状況

天理医療大学の第 1 1 期入学者を選抜するにあたり、学校推薦型選抜（指定校・公募）、一般選抜、共通テスト利用選抜を各 1 回ずつ実施し、それぞれ下記の通りの結果となった。

※入学者選抜試験応募状況

（単位：人）

試験種別	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	摘要
学校推薦型（指定校）	16	16	16	16	
学校推薦型（公募）	43	43	43	43	
一般選抜	68	65	50	36	
共通テスト利用選抜	9	7	7	4	
計	136	131	116	99	

(3) 施設等の状況

① 現有施設設備の所在地等の説明

主な施設設備の状況は次のとおりである。

所在地	施設等	面積等 (m <sup>2</sup> )	取得価額 (円)	帳簿価額 (円)	摘要
奈良県 天理市 別所町	校地等	11,383.33	—	—	宗教法人天理教より 無償貸与
	校舎	12,141.05	2,151,836,145	1,287,039,339	減価償却による減額

② 主な施設設備の取得又は処分計画及びその進捗状況

【学内ネットワーク機器更新工事】 34,141,800 円 (税込)

【学生食堂券売機更新】 1,199,000 円 (税込)

【固定資産等の除却】

1. 建物	1,540,004 円
2. 教育研究機器備品	689,368 円
3. 図書	707,250 円

(4) その他

当法人が設置する天理医療大学の医療学部について、設置者を学校法人天理大学に変更し、天理大学医療学部とするため、設置者変更期日の令和5年4月1日に向けて準備を進めている。

なお、上記設置者変更に伴い学校法人解散認可申請書を令和4年3月31日に所轄庁へ提出した。解散の日は令和5年4月1日とし、残余財産の帰属先は学校法人天理大学としている。

### 3. 財務の概要

#### (1) 決算の概要

##### ①貸借対照表の経年比較

(単位：円)

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度	2020(R2)年度	2021(R3)年度
固定資産	1,597,488,599	1,579,612,731	1,562,697,331	1,488,634,633	1,409,695,380
流動資産	140,639,877	151,598,178	200,437,867	168,396,168	261,430,705
資産の部合計	1,738,128,476	1,731,210,909	1,763,135,198	1,657,030,801	1,671,126,085
固定負債	58,592,977	70,412,051	78,096,105	84,567,315	103,226,331
流動負債	73,891,664	72,227,568	134,633,193	72,409,678	76,918,412
負債の部合計	132,484,641	142,639,619	212,729,298	156,976,993	180,144,743
基本金	2,371,812,973	2,414,357,532	2,426,532,163	2,490,933,284	2,518,337,158
繰越収支差額	△766,169,138	△825,786,242	△876,126,263	△990,879,476	△1,027,355,816
純資産の部合計	1,605,643,835	1,588,571,290	1,550,405,900	1,500,053,808	1,490,981,342
負債及び純資産の部合計	1,738,128,476	1,731,210,909	1,763,135,198	1,657,030,801	1,671,126,085

##### ②資金収支計算書の経年比較

(単位：円)

収入の部	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度	2020(R2)年度	2021(R3)年度
学生生徒等納付金収入	662,290,000	676,270,000	699,202,500	697,060,000	696,670,000
手数料収入	7,121,306	6,476,308	6,797,180	6,131,152	5,939,168
寄付金収入	21,087,500	21,100,000	1,600,000	700,000	600,000
補助金収入	77,516,934	88,424,308	69,280,551	131,951,104	149,837,200
資産売却収入	121,914	0	0	292,053	111,460
付随事業・収益事業収入	0	200,000	800,000	1,011,553	507,500
受取利息・配当金収入	1,726	2,535	5,786	3,744	3,257
雑収入	4,468,126	5,131,117	5,861,694	5,261,446	3,543,258
借入金等収入	0	0	0	0	0
前受金収入	34,290,000	35,385,000	23,176,600	29,761,300	28,283,800
その他の収入	164,790,649	182,805,769	223,396,722	173,236,078	188,359,655
資金収入調整勘定	△41,027,557	△34,396,516	△35,528,534	△23,565,181	△40,125,142

前年度繰越支払 資金	89,476,271	139,767,320	151,491,662	199,551,239	166,288,125
収入の部 合計	1,020,136,869	1,121,165,841	1,146,084,161	1,221,394,488	1,200,018,281

支出の部	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度	2020(R2)年度	2021(R3)年度
人件費支出	514,740,630	551,946,075	557,183,308	572,772,180	545,350,866
教育研究経費支 出	109,748,125	116,738,231	117,647,922	175,168,799	185,104,461
管理経費支出	25,270,245	31,857,715	29,522,114	27,460,984	24,000,220
借入金等利息支 出	0	0	0	0	0
借入金等返済支 出	40,000,000	0	0	0	0
施設関係支出	6,160,000	32,486,400	116,164,000	10,213,500	0
設備関係支出	23,407,858	11,422,090	14,554,319	21,402,509	51,401,825
資産運用支出	20,000,000	40,000,000	0	0	0
その他の支出	178,189,074	203,596,084	209,316,615	269,899,138	197,936,852
資金支出調整勘 定	△37,146,383	△18,372,416	△97,855,356	△21,810,747	△53,636,596
翌年度繰越し支 払資金	139,767,320	151,491,662	199,551,239	166,288,125	249,860,653
支出の部 合計	1,020,136,869	1,121,165,841	1,146,084,161	1,221,394,488	1,200,018,281

③活動区分資金収支計算書の経年比較

(単位：円)

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度	2020(R2)年度	2021(R3)年度
教育活動による資金収支					
教育活動資 金収入計	752,483,866	777,601,733	783,527,842	842,115,255	857,097,126
教育活動資 金支出計	649,680,700	700,542,021	704,334,644	775,401,963	754,455,547
差引	102,803,166	77,059,712	79,193,198	66,713,292	102,641,579
調整勘定等	△5,349,509	△5,349,991	△3,588,253	△4,818,973	△7,500,640
教育活動資 金収支差額	97,453,657	71,709,721	75,604,945	71,532,265	95,140,939

施設整備等活動による資金収支						
	施設整備等 活動資金収 入計	20,121,914	20,000,000	40,000,000	292,053	111,460
	施設整備等 活動資金支 出計	49,567,858	63,908,490	130,718,319	31,616,009	51,401,825
	差引	△29,445,944	△43,908,490	△90,718,319	△31,323,956	△51,290,365
	調整勘定等	18,060,422	1,618,555	69,553,481	△77,709,573	22,730,396
	施設整備等 活動資金収 支差額	△11,385,522	△42,289,935	△21,164,838	△109,033,529	△28,559,969
	小計(教育活動資 金収支差額+施 設整備等活動資 金収支差額)	86,068,135	29,419,786	54,440,107	△37,501,264	66,580,970
その他の活動による資金収支						
	その他の活 動資金収入 計	164,759,177	181,935,747	183,310,075	173,096,288	187,974,331
	その他の活 動資金支出 計	199,796,121	200,371,333	189,690,605	168,858,138	170,982,773
	差引	△35,036,944	△18,435,586	△6,380,530	4,238,150	16,991,558
	調整勘定等	△740,142	740,142	0	0	0
	その他の活 動資金収支 差額	△35,777,086	△17,695,444	△6,380,530	4,238,150	16,991,558
	支払資金の増減 額(小計+その他 の活動資金収支 差額)	50,291,049	11,724,342	48,059,577	△33,263,114	83,572,528
	前年度繰越支払 資金	89,476,271	139,767,320	151,491,662	199,551,239	166,288,125
	翌年度繰越支払 資金	139,767,320	151,491,662	199,551,239	166,288,125	249,860,653

## ④事業活動収支計算書の経年比較

(単位：円)

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度	2020(R2)年度	2021(R3)年度	
教育活動収支	事業活動収入の部					
	学生生徒等納付金	662,290,000	676,270,000	699,202,500	697,060,000	696,670,000
	手数料	7,121,306	6,476,308	6,797,180	6,131,152	5,939,168
	寄付金	1,087,500	1,100,000	1,600,000	700,000	600,000
	経常費等補助金	77,516,934	88,424,308	69,280,551	131,951,104	149,837,200
	付随事業収入	0	200,000	800,000	1,011,553	507,500
	雑収入	4,468,126	5,131,117	5,847,611	5,261,446	3,543,258
	教育活動収入計	752,483,866	777,601,733	783,527,842	842,115,255	857,097,126
	事業活動支出の部					
	人件費	522,325,057	564,395,385	566,911,506	584,454,654	546,838,550
	教育研究経費	199,481,614	210,086,996	212,849,912	272,879,333	286,563,394
	管理経費	34,428,755	40,547,932	41,355,511	37,467,692	33,328,683
	徴収不能額等	0	0	0	0	0
	教育活動支出計	756,235,426	815,030,313	821,116,929	894,801,679	866,730,627
教育活動収支差額	△3,751,560	△37,428,580	△37,589,087	△52,686,424	△9,633,501	
教育活動外収支	事業活動収入の部					
	受取利息・配当金	1,726	2,535	5,786	3,744	3,257
	その他の教育活動外収入	0	0	0	0	0
	教育活動外収入計	1,726	2,535	5,786	3,744	3,257
	事業活動支出の部					
	借入金等利息	0	0	0	0	0
	その他の特別教育活動外支出	0	0	0	0	0
	教育活動外支出計	0	0	0	0	0
教育活動外収支差額	1,726	2,535	5,786	3,744	3,257	

特別 収支	事業活動収入の部					
	資産売却差額	0	0	0	0	
	その他の特別収入	20,000,000	20,353,500	5,862,647	2,810,342	1,488,464
	特別収入計	20,000,000	20,353,500	5,862,647	2,810,342	1,488,464
	事業活動支出の部					
	資産処分差額	28,641	0	6,426,036	479,754	930,686
	その他の特別支出	3,729,405	0	18,700	0	0
	特別支出計	3,758,046	0	6,444,736	479,754	930,686
	特別収支差額	16,241,954	20,353,500	△582,089	2,330,588	557,778
	基本金組入前当年度収支差額	12,492,120	△17,072,545	△38,165,390	△50,352,092	△9,072,466
基本金組入額合計	△11,253,312	△42,544,559	△12,174,631	△64,401,121	△27,403,874	
当年度収支差額	1,238,808	△59,617,104	△50,340,021	△114,753,213	△36,476,340	
前年度繰越収支差額	△767,407,946	△766,169,138	△825,786,242	△876,126,263	△990,879,476	
基本金取崩額	0	0	0	0	0	
翌年度繰越収支差額	△766,169,138	△825,786,242	△876,126,263	△990,879,476	△1,027,355,816	

(参考)

事業活動収入計	772,485,592	797,957,768	789,396,275	844,929,341	858,588,847
事業活動支出計	759,993,472	815,030,313	827,561,665	895,281,433	867,661,313

## (2) 主な財務比率比較

(単位:%)

比率名	算式(×100)	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	摘要
人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$	69.4	72.6	72.4	69.4	63.8	
人件費依存率	$\frac{\text{人件費}}{\text{学生生徒等納付金}}$	78.9	83.5	81.1	83.8	78.5	
教育研究費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経常収入}}$	26.5	27.0	27.2	32.4	33.4	
管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{経常収入}}$	4.6	5.2	5.3	4.4	3.9	
借入金等利息比率	$\frac{\text{借入金等利息}}{\text{経常収入}}$	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
事業活動収支差額比率	$\frac{\text{基本金組入前当年度収支差額}}{\text{事業活動収入}}$	1.6	-2.1	-4.8	-6.0	-1.1	
基本金組入後収支比率	$\frac{\text{事業活動支出}}{\text{事業活動収入-基本金組入額}}$	99.8	107.9	105.6	114.7	104.4	
学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{経常収入}}$	85.7	84.8	88.6	82.5	81.3	
寄付金比率	$\frac{\text{寄付金}}{\text{事業活動収入}}$	0.1	0.1	0.2	0.1	0.1	
経常寄付金比率	$\frac{\text{教育活動収支の寄付金}}{\text{経常収入}}$	0.1	0.1	0.2	0.1	0.1	
補助金比率	$\frac{\text{補助金}}{\text{事業活動収入}}$	10.0	11.1	8.8	15.6	17.5	
経常補助金比率	$\frac{\text{教育活動収支の補助金}}{\text{経常収入}}$	10.3	11.4	8.8	15.7	17.5	
基本金組入率	$\frac{\text{基本金組入額}}{\text{事業活動収入}}$	1.5	5.3	1.5	7.6	3.2	
減価償却額比率	$\frac{\text{減価償却額}}{\text{経常支出}}$	13.1	12.5	12.7	12.0	12.8	
経常収支差額比率	$\frac{\text{経常収支差額}}{\text{経常収入}}$	-0.5	-4.8	-4.8	-6.3	-1.1	
教育活動収支差額比率	$\frac{\text{教育活動収支差額}}{\text{教育活動収入計}}$	-0.5	-4.8	-4.8	-6.3	-1.1	

(単位:%)

比率名	算式(×100)	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	摘要
固定資産構成比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}}$	91.9	91.2	88.6	89.8	84.4	
純資産構成比率	$\frac{\text{純資産}}{\text{負債+純資産}}$	92.4	91.8	87.9	90.5	89.2	
繰越収支差額構成比率	$\frac{\text{繰越収支差額}}{\text{負債+純資産}}$	-44.1	-47.7	-49.7	-59.8	-61.5	
固定比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産}}$	99.5	99.4	100.8	99.2	94.5	
固定長期適合率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産+固定負債}}$	96.0	95.2	96.0	93.9	88.4	
流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	190.3	209.9	148.9	232.6	339.9	
総負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{総資産}}$	7.6	8.2	12.1	9.5	10.8	
負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{純資産}}$	8.3	9.0	13.7	10.5	12.1	
前受金保有率	$\frac{\text{現金預金}}{\text{前受金}}$	407.6	428.1	861.0	558.7	883.4	
基本金比率	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	99.2	99.2	96.4	99.5	98.6	

## (3) その他

## ①有価証券の状況

該当なし

## ②借入金の状況

該当なし

## ③学校債の状況

該当なし

## ④寄付金の状況

寄付金の種類	摘要	金額(千円)
研究寄付金	研究奨励寄付金	600
現物寄付	科研費購入備品 他	1,488

⑤補助金の状況

令和3年度の私立大学等経常費補助金を申請し、77,822,000円の交付を受けることができた。

昨年度から開始された授業料等減免費交付金を交付申請し、62,015,200円の交付を受けることができた。本学学生の授業料等減免対象者は97名であった。

また、大学改革推進等補助金として本学申請の「ウィズコロナ時代の新たな医療に対応できる医療人材養成事業」が採択されたため、10,000,000円の交付決定があった。

⑥収益事業の状況

該当なし

⑦関連当事者等との取引の状況

ア) 関連当事者

該当なし

イ) 出資会社

該当なし

4. 参考資料 【文部科学省科学研究費の獲得状況】

2021年01月15日時点  
(単位:円)

令和3年度 文部科学省科学研究費(課題一覧)

所属	研究費	研究費	氏名	研究題目	新採/継続	所属/職分	課題番号	課題名	研究期間		助成金額 合計		外送金額		学内 助成金額	
									年度	年数	① 助成金	② R2直接経費	R2直接経費 合計(①+②)	直接経費	間接経費	直接経費
看護	准教授	共・代	山本 佳世子	基礎研究(B)	新規	共・代	21H0477	病院内患者以外に遇することのできるか、医療現場での「無差別」への患者へのケア	令和3年度	3	2,400,000	2,400,000	1,395,000	418,500	1,005,000	301,500
臨床検査	講師	共・代	中村 彰宏	基礎研究(C)	新規	共・代	21K09499	薬剤性大腸菌ST131におけるペリオキシルム形成および胃腸機能に関する研究	令和3年度	3	1,300,000	1,300,000	1,300,000	390,000	1,300,000	390,000
臨床検査	講師	共・代	松本 智子	基礎研究(C)	新規	共・代	21K09899	遺伝子検査異常症における早期診断法と新規迅速診断法の確立	令和3年度	3	1,300,000	1,300,000	195,000	58,500	1,105,000	331,500
医療学部	研究員	共・代	上岡 樹生	基礎研究(C)	新規	共・代	19K07889	幼若小脳分画検査による動脈硬化性脳症の診断	平成31年度	4	716,833	700,000	140,000	42,000	1,338,833	168,000
医療学部	研究員	単	野寺 裕之	基礎研究(C)	新規	単	20K07877	音階と人工知能を用いた非特異的放電の自動診断システムの開発	令和2年度	3	880,588	600,000	180,000	180,000	1,480,588	180,000
看護	教授	共・代	内田 宏美	基礎研究(C)	継続	共・代	19K07088	スクリーンを活用した訪問看護サービス/医療安全管理担当者のスキルアップ支援	令和31年度	3	642,418	300,000	200,000	60,000	742,418	30,000
看護	教授	共・代	岡本 智子	基礎研究(C)	期間延長	共・代	19K06864	訪問看護が把握する高齢者の認知及び行動心臓と認知症と包括的支援モデルの開発	令和2年度	3	361,692	800,000	361,692	200,000	361,692	期間延長のため
看護	教授	共・代	奥田 真紀子	基礎研究(C)	期間再延長	共・代	19K02259	看護実践を基盤とした在宅用標準看護計画の策定およびその有用性の検証	令和1年度	4	576,151	1,100,000	100,000	30,000	576,151	期間延長のため
看護	教授	共・代	山中 政子	基礎研究(C)	継続	共・代	20K07048	通院患者のがん検診セルフマネジメントを促進する看護介入プログラムの有効性の検証	令和2年度	3	599,758	1,100,000	169,758	330,000	1,559,758	300,000
看護	准講師	単	高橋 里少	若手研究(B)	期間延長	単	17K17555	アプリにおける集団感染予防プログラムの開発と長期的効果の検証	令和2年度	4	1,068,222	1,068,222	1,068,222	1,068,222	1,068,222	期間延長のため
看護	講師	共・代	松井 利江	基礎研究(C)	継続	共・代	19K09920	卵巣がんが寛がん患者に対する前哨療法プログラムの開発	令和3年度	3	255,651	800,000	200,000	60,000	855,651	180,000
臨床検査	教授	共・代	金井 孝理	基礎研究(C)	期間再延長	共・代	17K08609	がん化学療法における心臓モニタリングとAIによる心不全治療	令和1年度	3	801,200	801,200	801,200	200,000	801,200	期間延長のため
臨床検査	教授	単	梅倉 弘	基礎研究(C)	継続	単	20K07347	Tempを用いた聴覚診断法の開発とRNA検査法の開発	令和2年度	3	8,280	1,300,000	1,308,280	930,000	1,308,280	300,000
臨床検査	教授	単	和田 晋一	若手研究	継続	単	20K17201	一次分枝分析手法による重カカオ/ラテックス/動脈硬化症の診断	令和2年度	3	2,272,500	100,000	2,372,500	30,000	2,372,500	30,000
臨床検査	准教授	単	曾山 香歌	若手研究	継続	単	19K18196	体外循環の酸化ストレスと赤血球溶血の機序と予防法の開発	令和3年度	3	1,230,900	700,000	1,930,900	210,000	1,930,900	210,000
外部	研究員	単	龍浦 三奈	若手研究	継続	単	19K17875	急性冠症性白血腫(AML)におけるTKMPによるオートファジー制御機構の解明	令和3年度	3	684,220	500,000	1,184,220	150,000	1,184,220	150,000
外部	研究員	単	林野 泰明	基礎研究(C)	継続	単	19K04097	複合併存疾患イン/アウト 尺度 ODIS と臨床併存疾患アセスメントの関係	令和3年度	3	355,175	1,000,000	1,355,175	300,000	1,355,175	300,000
看護	教授	分組	内田 宏美	基礎研究(C)	期間延長	分組	17K12158	急性冠症病棟に入籍する認知症高齢者の転倒予防のためのケアプログラム	令和2年度	4	65,234	0	65,234	36,000	65,234	36,000
看護	教授	分組	内田 宏美	基礎研究(C)	継続	分組	20K06848	看護系大学教員の医療安全教育向上のための教材の開発	令和2年度	3	120,000	120,000	240,000	36,000	240,000	36,000
看護	教授	分組	岡本 智子	基礎研究(C)	継続	分組	19K02603	保育士の職務上に関与する保育士キャリア/ワーク/ヘルスケアプログラムの作成	令和3年度	3	101,970	100,000	201,970	30,000	201,970	30,000
看護	教授	分組	山中 政子	基礎研究(B)	継続	分組	20H03989	青年前期の子どものためのFamily-basedがん啓蒙教育プログラムの開発	令和2年度	4	150,000	150,000	150,000	45,000	150,000	45,000
看護	准教授	分組	高橋 里少	基礎研究(C)	期間再延長	分組	17K12497	精神科医師が分産者集団において選択する「取り返しのつかない」の作成	令和1年度	3	38,750	0	38,750	30,000	38,750	30,000
看護	准教授	分組	高橋 里少	基礎研究(C)	継続	分組	20K0772	精神科看護職員の精神科理解度及び看護実践能力を測定する尺度の開発	令和2年度	3	100,000	100,000	200,000	30,000	200,000	30,000
看護	助教	分組	梅村 弓枝	基礎研究(C)	継続	分組	20K10783	看護系教育実践への適用可能性を担ったEOLケア/コミュニケーションの開発	令和2年度	3	200,000	200,000	400,000	60,000	400,000	60,000
看護	講師	分組	高橋 晶	基礎研究(C)	新規	分組	21K11042	在宅介護高齢者のための介護支援策の検討	令和3年度	3	30,000	30,000	9,000	9,000	30,000	9,000
医療学部	研究員	分組	上岡 樹生	基礎研究(C)	継続	分組	19K07449	細菌抗剤の結合した血小管による複合体形成が誘発する炎症カシムスの解明	令和2年度	4	80,000	80,000	24,000	24,000	80,000	24,000
看護	講師	分組	東 真理	基礎研究(C)	継続	分組	21K02804	看護学生の多職種との連携を促進する教育プログラムの開発	令和2年度	4	50,000	50,000	15,000	15,000	50,000	15,000

※岡本先生、高橋里少先生は当初令和2年度までの研究期間が1年、令和3年度までの研究期間が2年、令和4年度までの研究期間が3年、令和5年度までの研究期間が4年、令和6年度までの研究期間が5年と設定された。令和3年度までの研究期間が1年、令和4年度までの研究期間が2年、令和5年度までの研究期間が3年、令和6年度までの研究期間が4年、令和7年度までの研究期間が5年と設定された。令和3年度までの研究期間が1年、令和4年度までの研究期間が2年、令和5年度までの研究期間が3年、令和6年度までの研究期間が4年、令和7年度までの研究期間が5年と設定された。

